

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
37101	レクリエーション論 Recreation Theory	山口 榮三		専門	2	選択	1・2年前期

科目の概要

少子高齢社会の日本社会においてレクリエーション・インストラクター（以下「レク・インストラクター」）はレクリエーションの「市民サービス事業」を推進する人材として期待されている。21世紀の社会とレクリエーション運動の役割、レクリエーション支援とその展開方法を基礎理論の中心におきながら、インストラクターとして必要なコミュニケーション技能について考察し講義及び支援実習を行う。この授業をとらして社会に出てから活用できるレクリエーション支援の技術を身につけるとともに、社会人基礎力を養う。

学修内容	到達目標
① レクリエーション(以下「レク」)の考え方を学ぶ。 ② レクの歩みを学ぶ。 ③ レクの展開状況を学ぶ。 ④ レクの企画方法を身につける。 ⑤ レクの援助方法を身につける。	① レクの考え方を簡潔に発表・説明ができる。 ② レクの歩みを簡潔に発表・説明ができる。 ③ レクの展開状況を簡潔に発表・説明ができる。 ④ レクの企画ができる。 ⑤ レクの支援ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏 み出す 力	主体性	次回の授業内容について、テキストの該当箇所や関連する内容を確認し予習をする。
	働きかけ力	
	実行力	
考え抜 く力	課題発見力	課題に対して、どのような姿勢で取り組んだらよいかを考え行動する。
	計画力	
	創造力	
チーム で働く 力	発信力	
	傾聴力	
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:日本レクリエーション協会編著『楽しさをとらした心の元気づくり』2017年。
～レクリエーション支援の理論と方法～ (日本レクリエーション協会発行 本体1,800円)を使用する。
参考文献:必要に応じて適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連:レクリエーション実技の授業を履修すること。
資格との関連:レクリエーション・インストラクター 保育士 幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 予習ではテキストをよく読んで内容を整理してほしい。 欠席はしないこと。 授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめ提出すること(必須)。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した内容が理解されている。 ・ 問題を的確・適切に捉えられているか。 ・ 重要な点を把握しているか。 ・ 自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・ 誤字・脱字はないか。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
	小テスト	10		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回の小テストの点数を平均して判定する。(各テスト10点満点) ① 授業で学習した内容の理解度を確認する。 ② 穴埋め問題と、択一形式問題を中心に出题する。 ・ 出题範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
レポート	10		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した内容が理解されている。 ・ 問題を的確・適切に捉えられているか。 ・ 重要な点を把握しているか。 ・ 自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・ 誤字・脱字はないか。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
			⑤	✓		
平常評価	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	20	①		福祉レク支援の完成度 (特に高い：25点、完成度は高く内容にも工夫が見られる：15点、180完成はしているが、内容には工夫と努力が必要である：10点) プレゼンテーションの論理性・明瞭さを評価する。	
			②			
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①		(主体性)：能動的な受講態度を評価する。 (ポイントを的確に把握理解した支援実技等) (課題発見能力)：現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。 (規律性)： ・ 学習意欲の欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・ 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
総合評価 割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
上記の【評価方法】の内90%以上を満たす場合をS(秀)80%以上を満たす場合はA(優)とみなす目安とする。 ・ 授業で学習した内容の理解度が優れている。(55%) ・ 自身の見解を優れて論理的な文章で論じている。(5%) ・ 発表が優れて論理的である。(10%) ・ 優れて能動的な受講態度であること。 (積極的で、ポイントを的確に理解した発言、発表等) (10%) ・ 発表、発言等に優れて創造性、独自性がみられる。(10%)	上記の【評価方法】の内70%以上を満たす場合をB(良)60%以上を満たす場合C(可)とみなす目安とする。 ・ 授業で学習した内容の理解度が良い。(50%) ・ 自身の見解を論理的な文章で論じている。(5%) ・ 発表が論理的である。(5%) ・ 能動的な受講態度であること。 (積極的で、ポイントを的確に把握理解した発言、発表等) (5%) ・ 発表、発言等に創造性、独自性がみられる。(5%)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	レクとは何か、何を学習し、どのような技能を習得するのかを確認する。 レクの意味とレク運動の歴史を学ぶ。	講義	シラバスを理解ができている。	予習：シラバス理解。 復習：講義のまとめ	180	規律性
2週 /	レク・インストラクターの役割を理解する。 ・現代社会の課題や問題に対してレク・インストラクターの果たす役割を考察する。	講義と 質疑応答 グループ討議	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 学修計画を立てる。 復習：講義のまとめ。	180	計画性
3週 /	レク支援の目標と理念：レク支援が個人や地域社会にとって、どのような価値や意義があるのかを考察する。 小テストを実施①	小テスト 講義と 質疑応答	小テストが60%以上理解できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ。	180	主体性
4週 /	レク支援の展開と方法を学ぶ (1) ・A-PIEプロセスを学び理解をする。	講義と 質疑応答	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ。	180	主体性
5週 /	レク支援の展開と方法を学ぶ (2) ・CSSを学び理解をする。 ・小テストの実施②	小テスト 講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。 小テストが60%以上理解できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	主体性
6週 /	レク支援の展開と方法を学ぶ (3)：レク・インストラクターの役割は社会の課題と結びついていることを認識した上で、求められる役割を考える。 課題レポートを実施①。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。 ポイントが良くまとめられたレポートが作成できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	主体性
7週 /	レク組織の運営論(1)：市町村レク協会の大きな課題は「クラブ」育成である。そのクラブの誕生と運営について考察する。 ・小テストの実施③	小テスト 講義	小テストが60%以上理解できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力
8週 /	レク組織の運営論(2)：今後レク・インストラクターとして所属する各市町村レク協会の目的や活動内容運営方法を理解する。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	レク財とは：豊かな指導力とは対象や指導場面に適したプログラム提供にある。レク財について考察する。 小テストを実施④	講義と 質疑応答 小テスト	小テストが60%以上できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	計画力
10週 /	レクサービス論(1)：「イベント」を企画・準備・運営することはレク・インストラクター技能の役割の一つである。対象者にとって魅力ある事業運営について考察する。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力/ 計画力
11週 /	レクサービス論(2)：事業はげがや事故がなくて成功、また事業終了評価は次なる準備とされている。何を評価するのか、安全のポイントについて考察する。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力/ 計画力
12週 /	コミュニケーション・ワーク(1)：レク・インストラクターは参加者が興味・関心をもって楽しいという気持ちを呼び起こす方法を考察する。ホスピタリティトレーニングの体験。	演習形式の講義	グループ員として役割を持ち、発言をする等、積極的に係ることができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力/ 課題発見力
13週 /	コミュニケーション・ワーク(2)：レク・インストラクターは自己の性格を十分に理解してセルフコントロールが大切。コミュニケーショントレーニングの体験。 レポートを実施②。	演習形式の講義	グループ員として役割を持ち、発言をする等、積極的に係ることができる。 ポイントが良くまとめられたレポートが作成できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	発信力/ 課題発見力
14週 /	コミュニケーション・ワーク(3) 集会やイベント等で人が集まる場で、人と人とが和やかに知り合うための方法であるアイスブレイキングを学ぶ。 小テストを実施⑤	演習形式の講義 小テスト	小テストが60%以上できる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。 復習：講義のまとめ	180	主体性/ 実行力
15週 /	まとめ：レク・インストラクターの基礎理解について総括しまとめを行う。 まとめレポート作成	講義と 質疑応答	重要なポイントが整理され、わかりやすくまとめたレポート作成ができる。	予習：テキストの該当範囲を理解する。	180	主体性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力